

鎌倉市立大船中学校改築基本計画(案)についてのご意見に対する回答

	市内外	性別	意見の概要	市教育委員会の考え方
1	市内在住	男性	◎エコスクールの資料が添付されているものの、そこで示されている応用例が今回の計画にどの程度反映されるのかわからないが、きちんと実現してもらいたい。	『2. 基本方針』の2-④、『3. 施設整備の方向性』の(1)-⑧に掲げているようにエコスクール化の実現を目指します。
			◎都心の大型オフィスビルや中央官庁で設置されているように、建物の入り口にSecurityGateを設置し、生徒証にICカードを埋め込んで通行証にすると共に、ロッカーのカギ等としても活用することを検討願いたい。これは、施設や校庭を周辺住民の生涯学習やスポーツ活動に有効に開放する前提として、生徒の安全確保のために重要である。	『2. 基本方針』の2-③に掲げているように生徒の安全確保については、ご提案頂きましたシステムも含め、必要に応じて検討していきます。
			◎図書館を別棟にするかどうかの議論があるが、海外や他の自治体では学校(ただし大学が多い)の図書館を地域の図書館と統合して運営する成功事例が増えている。大船中学校の場合もすぐ近くに市立大船図書館があるので、いますぐではないにせよ将来的には検討に値すると思う。この前提としても、Security Gateの設置は有効である。	『2. 基本方針』の1-①及び3-①に掲げているように長期間建物を有効に使うため図書館(図書室)を含め他の特別教室についても将来を見ずえた整備をするとともに地域の人々にとって生涯学習の場として、活用が図れるよう検討していきます。
2	市内在住	男性	◎震災の避難場所として計画して頂きたい。	『2. 基本方針』の3-②、『3. 施設整備の方向性』の(1)-⑫に掲げているように地域の防災拠点(避難場所)として、計画します。
			◎ソーラー施設、風力発電、等の準備によるエネルギーの地産地消を計画して頂きたい。	『2. 基本方針』の2-④に掲げているように積極的に自然エネルギー等の活用を図ります。
			◎発生するごみの自己処理、さらに地域と協力した生ごみの処理を畑の準備や処理施設の準備等と併せ計画して頂きたい。	施設の低炭素化に向けて、自然エネルギーの活用だけでなく学校で発生したごみの自己処理についても検討したいと考えます。

3	市内在住	男性	◎太陽光を有効に活用し、太陽光発電施設の併設をお願いします。	『2. 基本方針』の2-④に掲げているように積極的に自然エネルギー等の活用を図ります。
			◎雨水の貯槽を設置して、雨水のトイレ洗浄等の活用を入れてください。	『2. 基本方針』の2-④に掲げているように積極的に自然エネルギー等の活用を図ります。
			◎建物、スポーツ施設等以外のスペースは、なるべく多く植樹をしてください。	『3. 施設の整備の方向性』の(6)-②に掲げているように植栽のもつ機能を積極的に取り入れ長期的な展望のもと、緑化を進めていく計画でいます。
4	市内在住	女性	◎地盤が強いところではなく、かつ水はけのよい高台と言うわけでもありません。水害の対策をお願いします。	『4. 大船中学校改築の現状と課題』の(3)-①に掲げているように建物の耐震性はもちろんのこと、水害を含めた災害にも配慮して設計を進めていきます。
			◎中学は高校に比べて、地域に対して閉鎖的になりがちです。地域交流の場となるような場所を併設願います。	『2. 基本方針』の3-①、-③に掲げているように地域に開かれた地域の人と生徒がふれあえる交流環境を整備していきます。
			◎障害、ひきこもり傾向の児童を受け入れてきました。そうした子どもの居場所となるようなシェルタースペースをお願いします。	『2. 基本方針』の1-③、2-②に掲げているように障害のある生徒の学習環境、生活環境に配慮して施設の整備を行います。 なお、ひきこもり傾向の児童を受け入れ施設については、施設の性格上、学校に併設するよりは別の場所を検討しています。

5	市内在住	男性	<p>◎長く記憶に残る様な生活空間は重要だと思えます。空間に多様性を持たせ、ソフトなランドマーク的特長を有する校舎形態とすることを望みます。</p>	<p>意匠・形態については、『3. 施設整備の方向性』の(1)～⑩に掲げているようにまちなみの形成に貢献できる施設を目指します。</p>
			<p>◎情報環境としてコミュニケーションリテラシーの育成に資する施設に注力してください。ゲーム機やスマートフォン等のIT機器の進歩に対応する作法を習得できる設備を期待します。</p>	<p>『2. 基本方針』の1-②に掲げているようにIT機器の進歩に対応出来るよう高機能かつ多機能な学習環境を整備する計画でいます。</p>
			<p>◎サッカー場や陸上競技に対応できる広い校庭の活用に伴い、外部からの入場者に対する対策が必要だと考えます。教育スペースと共用スペースのゾーン分けなど設備的工夫を考えてください。</p>	<p>ご指摘のとおり、教育スペースと共用スペースのゾーン分けも含め『2. 基本方針』の2-③、『3. 施設整備の方向性』の(2)～⑤に掲げているように利用者の動線とともに施設管理にも留意し、交流部分や開放部分に配慮し、防犯性などを備えた安心感のある生活環境を整備していきます。</p>
			<p>◎特別支援教育の施設は、弱者に対する偏見の低減および共生が自然と身につくように配置や動線を考慮されることを望みます。</p>	<p>特別支援学級については、生徒達の動線に十分配慮して配置し、『1. 基本理念』にあるよう生徒たちが「共生の心」を養える施設として整備していきます。</p>
			<p>◎エコスクールの必要条件としての設備は当然のこととして、それを「見える化」する工夫、例えばビオトープと大船駅前広場との温度やCO2濃度の差、あるいは市役所と校舎での放射レベルの差のリアルタイムモニタリング等の情報設備を作ってはでしょうか。教育手法の課題となりますが、可視化を通して自発的興味を喚起し環境問題に対する複眼的、LCA的見方を育成すべきと考えます。</p>	<p>環境教育に寄与する設備等の設置については、『3. 施設整備の方向性』の(4)～⑤に掲げているところであり、今後の設計の中で、ご提案の「見える化」も含めて検討していきます。</p>
			<p>◎個人情報等との関係で解決すべき問題はあるかと思えますが、上記(3)で述べたように、外部への開放に伴い、多角的防犯対策が求められると考えます。常に監視されているという心理状況に生徒を置くのはマイナスですが、構内は安全である、という生徒と学校の信頼関係を維持する手段を、ぜひ構築していただきたい。</p>	<p>『2. 基本方針』の2-③に掲げているように防犯性を備えた安心感のある生活環境を構築するための手段を検討していきます。</p>

6	市内在住	男性	<p>◎地域とのふれあいを重視し、又、市内中学校の各種運動競技の拠点とすることは、基本的に異論は無い。</p>	<p>『2. 基本方針』の1-④及び3-①に掲げたように整備をしていきます。</p>
			<p>◎防災拠点とすることには疑問がある。ミニ防災拠点、災害時のヘリポートとして従来から指定されているが、海拔11mであることには留意する必要がある。代替地(海拔25m位)があれば用地変更が望ましい。</p>	<p>現在、神奈川県において、津波浸水想定の見直しを行っており、その結果に基づき鎌倉市津波ハザードマップの改訂を行う予定です。地域の防災拠点として機能を整備することについては、予想される当該地の浸水状況にも配慮したいと考えます。</p>
			<p>◎建屋は鉄筋5階建てとし、帰宅難民も受入れるものとし、5,000人収容を考慮し、4階、5階は市民向けの交流ホールとして使えるようにしておく。(鎌倉市にはこの様な施設が足りない。)</p>	<p>『3. 施設整備の方向性』の(1)-③にありますように原則3階建て以下として考えています。          なお、ご提案のような施設を整備することについては、土地所有者である国(財務省)と協議した中で、複合施設ではなく中学校として建て替えを行い、その中に地域の防災拠点としての機能を整備する計画としています。</p>

鎌倉市立大船中学校改築基本計画(案)以外についてのご意見に対する回答

	市内外	性別	意見の概要	市教育委員会の考え方
7	市内在住	女性	<p>◎計画案は読んでおりませんが、もたもたせず早く建て直してほしいです。直下型の地震の可能性が高い現状において、通っているお子さんとその家族の心配を思うと、一刻の猶予もないと思っています。</p> <p>近隣に住む者として、避難所として機能しない可能性が高い場所が避難所として指定されていることにも不安を感じます。</p>	<p>1日でも早く建て替え工事に着手できるよう作業を鋭意進めてまいります。</p>
8	市内在住	女性	<p>◎新校舎の基本計画はとても魅力的で完成した校舎をみてみたいなあと思います。ただ、この校舎で学ぶ事ができない者としては仮設校舎建設を早くして頂きたいし、体育館の使用禁止をお願いしたいと思います。</p> <p>基本計画(案)には、工事期間中、学校教育に必要な環境を確保できるよう計画する。とありますが、安心安全に学べる施設が必要な環境だと思います。施工上の課題のところで、軟弱な地盤と認められています。耐震性能の低いIs値の体育館を知っているながら使用し続けることは、学校や行政側、大人の都合でしかないと思います。</p>	<p>校舎施設等の老朽化が著しいことから、生徒の安全を考え通常、建て替え工事の際に必要な仮設校舎を前倒して本年度中に建設いたします。今後は、『3. 施設整備の方向性』の(1)～(3)に掲げているように改築工事期間中の学校教育に必要な環境に配慮しながら工事が1日でも早く終わるよう努めていきます。</p>
			<p>◎大船中学校は防災教育をしているのでしょうか。この施設で震災に遭った時の心構え、対処を子ども達に教えているのでしょうか。市の小・中学校で唯一耐震対策ができていない学校施設の大船中学校で、積極的になさっていないとしたら、命を軽く見ているとしか思えないし、大変不安です。</p> <p>高校は自分で選ぶことができますが、中学校は学区制です。「地震がきませんように」と、毎日、子どもを送り出さなくてはならない学校はひどいなあと思います。命の大切さを再度考えて頂きたいと思います。お願いします。</p>	<p>大船中学校では、防災教育の一貫として、年に2回の避難訓練を行っています。また、登下校中や学校にいる時などの震災に対する対処方法を教えています。これからも引き続き防災教育を徹底するなど少しでも不安の払拭に努めたいと考えます。</p>

9	市内在住	不明	<p>◎設計者の選定はどのように行うのでしょうか。</p> <p>良い学校を作るためにもぜひ、コンペティションで行って頂きたい。最低でもプロポーザルで行うべきと考えます。入札で、設計者を決めることには反対です。また、第二中学校の設計のように、基本設計・実施設計を分離したり、実施設計を入札で別な設計者でもOKとなるような計画の仕方はしないで頂きたい。あくまで、基本設計・実施設計はひと続きのものと考えてほしい。多少、時間がかかっても、今後100年続くような校舎のあり方や、計画案を入札でなくじっくり考え、設計を任せる相手を選んでほしい。</p>	<p>設計者の選定方法については検討中ですが、ご指摘のとおり、これから永く使う校舎の設計を任せますので適切な方法で設計者を選定したいと考えています。</p> <p>なお、基本設計・実施設計については、ご指摘のとおり一体のものであり、同じ設計者で行いたいと考えています。</p>
			<p>◎土地はまだ借地でしょうか。ぜひ、取得して欲しいものです。</p>	<p>土地(学校用地)は、全て国(財務省)からの借地です。なお、今回の改築に伴う、取得は検討していません。</p>
			<p>◎小坂小学校の学童と一緒に整備してほしい。</p>	<p>土地所有者である国(財務省)と協議した中で、複合施設ではなく中学校としての建て替えを考えています。</p>
10	市内在住	女性	<p>◎大船中学校改築基本計画(案)を読ませていただきました。この計画案に欠落している点があると考えます。それは、現在通学している及び今後完成するまでの生徒や教職員の安全な環境が考慮されていません。特に、義務教育として生徒が、享受して当然の権利として、十分な教育設備環境を与えられておらず、侵害していると考えます。</p> <p>校舎・体育館のIs値が公表されていますが、とんでもない数値です。校舎は早急に仮設校舎を建設し、生徒達が長時間過ごすであろう校舎の安全を確保したことで、特段の配慮をしたつもりかも知れませんが、体育館はどうなのでしょう。一夜城の如く、仮設校舎や新体育館が出来るとはさすがに思いませんが、それくらいの気概と情熱をもって、ことに当たっていただきたいです。</p> <p>これからの時代を担う子どもたちの命を守るため、最低限の環境を整備することは、我々大人の責務であります。どうか、市も事の重大性を再々認識していただき、早急に、一刻も早く安全な教育環境整備に尽力していただきたいと切に願います。</p>	<p>既存校舎等の老朽化が著しいことから、市教育委員会としましては、前倒しで本年度中に仮設校舎を建設することで、生徒及び教職員の安全確保に努めてきたところですが、ご指摘のとおり、早急に対処すべき課題として、生徒たちの安全確保や教育設備環境の整備があることも十分認識しており、安全な教育環境が1日でも早く整えられるよう努めていきます。</p>